ふくろう新聞

＜発　行＞
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
洲本市中川原町
中川原28番地1
TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551

伝統舞踊の披露や韓国民族衣装を体験

～神戸聴覚特別支援学校育友会の皆さんより～

11月23日（金）、神戸聴覚特別支援学校育友会のみなさんが来所され、韓国伝統舞踊を披露して下さいました。

ふくろう・ふれ愛まつりの際にも舞台を華やかにしていただきました。ふくろうへは今回で2回目です。

しかし、入所者も近くで演舞を見るのは今回が初めて。かねや太鼓の大きな音と元気な踊りを間近に見ることができ、みなさんは大喜び。また、入所者にも実際に楽器をたたき、音の振動を体感できて、みなさん嬉しそうでした。

（介護：角村）

▲　かねを鳴らしたり、色鮮やかなチョゴリを体験させていただきました。

▲鮮やかな扇がみごとに揃っていました

お知らせ

12月24日の聴障ネット主催「桑名正博バリアフリーコンサート」には、淡路ふくろうの郷の入所者もたくさん参加します。

兵庫の聴覚障害者事業の発展のためにも、コンサートを盛り上げましょう！

～世田谷福祉専門学校手話通訳学科からの実習生より～

初めての実習でとても緊張しましたが、職員の方々や入所者の方々に優しく接して頂き楽しい10日間を過ごしました。

また、10月28日のふくろうふれ愛まつりの参加など、学校の中では体験できない貴重な体験もできました。

実習の中でコミュニケーションの大切さ、人間らしく生きるために必要なもの等、多くのことを学ばせて頂きました。そしてたくさんの「優しさ」を入所者の方々、職員の方々から頂戴しました。

入所者の皆さんの明るい笑顔や様々なお話に、私の方が元気パワーを頂いたように思います。

必ずまた訪問させていただきます。
待っていて下さい。

西川　慶子
（にしかわ　のりこ）

11月19日から始まった実習でしたが、あっという間に過ぎてしまいました。個を大切に、アットホームな雰囲気の「淡路ふくろうの郷」で10日間過ごすことができて大変幸せでした。

その間入所者、職員の皆さんには色々暖かい声をかけて頂きました。手話の現場実習をいうことでこちらに参りましたが、入所者ひとりひとりのコミュニケーション方法を見るにつけ「どなたにでも対応できる柔軟な考え方が必要だなぁ」と実感しました。

本当にありがとうございました。

保　秀樹（たもつ　ひでき）

花・木ユニット外出レク

～外食と植物館へ～

12月3日（月）、花木ユニットの入所者の皆さん18名が淡路サービスエリアと淡路夢舞台「奇跡の星の植物館」に行ってきました。

ちょっと肌寒いなか出発、淡路サービスエリアにてお好みのランチを食べました。うどんやうなぎやカツ丼…皆さんとてもおいしそう！目が輝いています。

お土産を買ったり、景色をみたり、思い思いの時間を過ごしました。

そして、昼1時過ぎに淡路夢舞台に到着。珍しい植物を見学しました。みなさん興味津々。入所者の坂口さんは植物に詳しく、逆に教えてもらったほどです。

夕方、帰所してからは「楽しかった！ありがとう！」、「おいしかった！」と皆さんに喜んでいただけました。

日中は日も差して、お天気も助けてくれました。入所者さんの普段は見られないような表情が見られた1日でした。

（介護：角村）

注意！インフルエンザが流行っています

普通のかぜとインフルエンザを混同してはいませんか？普通のかぜの症状は、のどの痛み、鼻汁、くしゃみや咳（せき）などが中心で、全身症状はあまり見られません。発熱もインフルエンザほど高くなありません。

一方、インフルエンザの場合は38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強く、あわせて普通のかぜと同様の、のどの痛み、鼻汁などの症状も見られます。

最も確実な予防法は流行前にワクチン接種をすることです。

日常生活での予防法は、

・栄養と休養を十分取る
・人ごみを避ける
・適度な温度、湿度を保つ
・外出後の手洗いとうがいの励行
・マスクを着用する

今年は例年より1ヶ月流行が早まっています。ワクチン接種と日ごろの予防をおすすめします。

～訃報～

竹鼻　加三さん（79歳）
平成19年11月4日永眠

病状が悪化したために長期入院となり、一度ふくろうを退所したものの、回復し4月から再びふくろうでの生活を始めていましたが、残念ながらお亡くなりになりました。

家が近所だったので、お元気だった頃はよく見かけましたが、いつも愛想が良く、服装もおしゃれな人でした。

（介護：小椋）

12月おたん生日おめでとう

息子さんと一緒に生活
新居　花子さん(88)
大正8年12月10日

踊るの大好き
中野　チサエさん(79)
昭和3年12月29日

外出されるのが大好き
勇　喜佐夫さん(76)
昭和6年12月15日

川ユニットのお母さん
高橋　美代子さん(76)
昭和6年12月15日

40年ぶりに再び・・・

画集「ふるさと神戸」の相良 理さん、昭和を描く

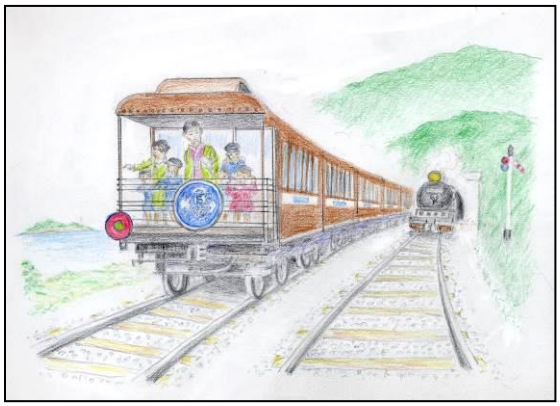
→ 再び描き始めた絵をもつ相良理さん(左)と、奥様のヒサ子さん(右)

相良さんが40歳の頃に、自分の生い立ちを順に絵に描き溜めていたものを見せていただきました。戦前から戦中、戦後までの日本の変遷を相良さんの目線から見ることができ、「戦争と平和」を考える上ですばらしいものでした。

是非、本にして多くの方々に見ていただきたく、画集「ふるさと神戸」の製作に携わりました。この画集はとても評判が良く、新聞社から取材が来たり、地元テレビ局のニュースでも報道されたほどでした。

子供の頃から絵を描くのが好きだった相良さんは絵の道に進みたかったのだけれど、生活のことを考え、技術を身につけ理髪店を営む道を選びました。42歳頃から仕事や生活が忙しくなり、絵を描くこともしなくなっていました。

そんな相良さんが、現在80歳になり、再び絵を描き始めたのです。心温まる色使いの絵は、とても40年のブランクを感じさせるものではありません。絵は、昭和初期から中期のものが多く、相良さんの幼少から青春時代を感じさせる、どこか懐かしい感じのするものばかりです。



現在、相良さんの奥様ヒサ子さんには介護の必要があり、ふくろうに長期入所となりました。ご夫婦一緒に暮らせることが望ましいのですが、現時点では離れての生活です。理さんがショートステイで来られると、ヒサ子さんはとても嬉しそうな笑顔をされ、「この人絵が上手なのよ。学校でも一番だったのよ。」と自慢されます。理さんも、家で描かれた2冊のスケッチブックを見せながら、「3月にはもう1冊、絵を描きためて持ってくるよ。」と言っています。

「ふるさと神戸」の第二弾が出版できる日を楽しみにしています。

（事務：是井）

ショートステイ利用の相良理（さがら・ただし）さんとは、淡路ふくろうの郷建設運動のなかで出会いました。

はじめまして

ふくろうに新しく入所されました。これからよろしくお願いします。

相良　ヒサ子さん
11月5日入所

小学生と交流

11月27日(火)、安平小学校の子どもたちが、ふくろうの入所者との交流にきました。

今回は3グループに分かれ、ユニットに入って入所者と共にケーキ作りをしました。

ふくろうの自慢の設備の一つである、館内一斉放送機器を使い、ユニットのテレビにケーキの作り方を生放送しました。

説明する職員が緊張してしまい、説明が早くなって、ユニットから「もっとゆっくりして」と、連絡がきたりしましたが、それぞれのユニットでかわいいふくろうのケーキを作ることができました。できたケーキをみんなで食べて、交流は終わりました。帰り際には、今回の交流のために一生懸命覚えた指文字で「ありがとうございました」と挨拶してくれました。

12月18日には、ふくろうの入所者が安平小学校に交流に出かけます。一緒に勉強して給食を食べる予定です。学校に行けなかった方もいらっしゃいますので、みなさんとても楽しみにしています。

職員互助会 日帰り旅行

職員間の親睦を深めるため、今回初めて職員の日帰り旅行を計画しました。

鳴門のうずしおを見て、藍染め体験、らいうどんのお昼ごはんの後、温泉に入ってのんびりし、木偶人形会館の見学をしました。

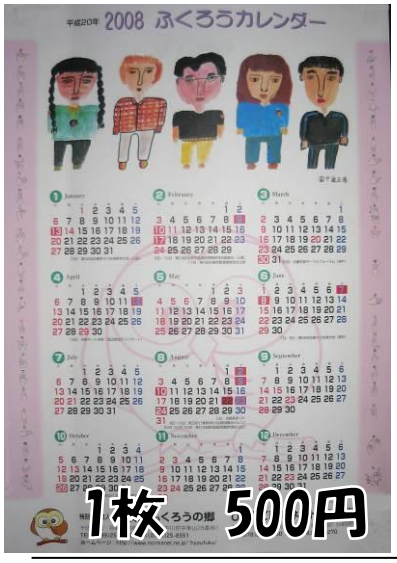
淡路島外からの職員も多いので、徳島に初めて行く人もいました。道中のバスもにぎやかで、職場では見たことのない意外な一面を見せる人も。

今後も楽しい企画を考えたいです。

▲少人数でしたが、楽しかったです。

▲バスの中でも飲みまくりだったとか･･･。

2008年カレンダー 発売中!!



聴障ネット主催 桑名正博バリアフリーコンサート

12月24日（振替休日）

13:30　座席指定券引き換え
14:15　開場
15:00　開園

S　席･･･7,000円
A　席･･･5,000円
小学生･･･3,000円
保育あり･･･300円

手話通訳付き、リアルタイム字幕付き、
磁気ループ、点字プログラム、車イス席あり

お問い合わせ
ひょうご聴障ネット内
X'mas ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰｺﾝｻｰﾄ「桑名正博～歌とトーク～」実行委員会

TEL:078-362-5250　FAX:078-362-5270
E-mail:hyogo_deaf_fukushi@k5.dion.ne.jp